

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	リサーチワークショップ I A	
科目基礎情報							
科目番号	51030			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	経営情報学科			対象学年	1		
開設期	2nd-Q			週時間数	4		
教科書/教材	なし						
担当教員	碓 智徳,岸川 善紀						
到達目標							
1. 研究の基礎となる目標設定および目標達成のためのスケジューリングができる。 2. 研究の基礎となる知識(英語の語彙力含む)・技術の重要性を理解できる。 3. 与えられたテーマに対する実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)			
評価項目1	研究の基礎となる目標設定および目標達成のためのスケジュールをともに綿密に構築できる。	研究の基礎となる目標設定および目標達成のためのスケジュールを概ね構築できる。	研究の基礎となる目標達成のためのスケジュールを構築できる。	研究の基礎となる目標達成のためのスケジュールを構築できない。			
評価項目2	研究の基礎となる知識(英語の語彙力含む)・技術の重要性を自ら深く理解できる。	研究の基礎となる知識(英語の語彙力含む)・技術の重要性を自ら概ね理解できる。	研究の基礎となる知識(英語の語彙力含む)・技術の重要性について、教員の説明内容を理解できる。	研究の基礎となる知識(英語の語彙力含む)・技術の重要性を理解できない。			
評価項目3	与えられたテーマに対する実践的行動の結果をレポートに分かり易くまとめることができる。	与えられたテーマに対する実践的行動の結果のうち、重要な箇所をレポートにまとめることができる。	与えられたテーマに対する実践的行動の結果のうち、基礎的な箇所をレポートにまとめることができる。	与えられたテーマに対する実践的行動の結果をレポートにまとめることができない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	各専門学科において、グループ単位でテーマを決めて調査研究を行い、研究を行う上で必要な素養を学び、専門的な文献を読むための日本語及び英語の語彙力を習得する。本科目では、1・2年次に学ぶ学習内容が専門領域とどのように関連し、その後の専門科目との繋がりがおよび最終ゴールである卒業研究との関係性を把握することにある。本科目は5年生のリサーチワークショップIIと一部同時開講であり、5年生が講義の指導役を担う。						
授業の進め方・方法	本科目では知識（英語の語彙力を含む）を深めるのはもちろんだが、得た知識と1年次に学ぶ科目との関連性を見出すことが要求される。また、5年生が指導、進行を担いグループ単位でミニ卒研に取り組むことから、グループ学習の基本である自らの思考の言語化、他者と議論できる能力、研究に必要な計画性や複眼的視点が要求される。						
注意点	従来型の座学のように、教員から降ってくる知識を吸収するのみという受け身型の学習を想定していない。研究を行う上で必要な知識・技術の幅の広さを貪欲に吸収し、最終学年のゴールである卒業研究にて要求されるメンタリティを確立して欲しい。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	2ndQ	9週	イントロダクション 調査研究(1)	本講義の進め方およびゴールを把握できる。 グループ単位で行われる研究（具体的にはオープンデータをを用いた経済分析や地域研究を行う）の基礎知識を把握できる。			
		10週	調査研究(2)	グループ単位で行われる研究の基礎知識を把握できる。			
		11週	調査研究(3)	グループ単位で行われる研究の基礎知識を把握できる。			
		12週	調査研究(4)	グループ単位で与えられたテーマに対して実践的行動ができる。			
		13週	調査研究(5)	グループ単位で与えられたテーマに対して実践的行動ができる。			
		14週	調査研究(6)	グループ単位で与えられたテーマに対して実践的行動ができる。			
		15週	調査研究(7)	実践的行動の結果をレポートにまとめることができる。			
		16週	まとめ	本講義で学んだ内容を整理するとともに、研究活動を行うために必要な素養や視野の広さを理解できる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。		3	
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。		3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ALC	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	10	10	80	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	10	20	30

思考・推論・創造への適用力	0	0	0	0	0	30	30
汎用的技能	0	0	0	0	0	0	0
態度・指向性 (人間力)	0	0	0	10	0	0	10
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0	0	30	30